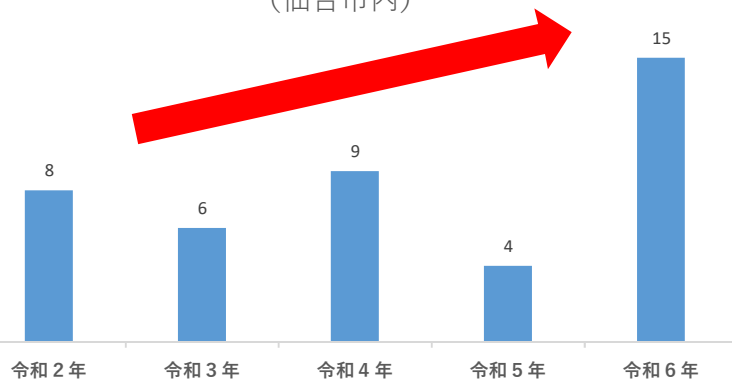


こんな火災をなくそう！（リチウムイオンバッテリー火災編）

リチウムイオンバッテリーは、ノートパソコンやスマートフォン、モバイルバッテリーなど様々な電気製品に搭載されており、私たちの生活にはなくてはならないものとなっています。それに伴い、リチウムイオンバッテリーを起因とする事故（火災等）が増加しています。

リチウムイオンバッテリーによる火災件数
（仙台市内）



独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）の調べでは、リチウムイオンバッテリーを起因とする事故（火災等）は、全国で平成26年度から令和5年度までの10年間に2,380件発生しており、事故件数は増加しています。

仙台市内でも令和6年中にリチウムイオンバッテリーが原因となった火災が15件発生しています。

リチウムイオンバッテリーから出火した事例



スマートフォンに内蔵されているリチウムイオンバッテリーから出火した事例です！

落下させたり、ぶついたりする等の衝撃によりリチウムイオンバッテリーがショート（短絡）することで、火災が発生する危険性があります！



伊達家伯記念會協力

防火のポイント！

- 1 お手持ちの製品がリコール対象が確認し、リコール対象の場合は不具合が生じていなくても速やかに使用を中止して、購入した販売店や製造・輸入事業者にご相談しましょう。NITEのホームページにおいて、リコール情報の検索を行うことができます。
NITEホームページURL：<https://www.nite.go.jp/jiko/jiko-db/recall/search/>
 - 2 リチウムイオンバッテリー搭載製品は、衝撃を与えないよう丁寧に取り扱しましょう。
 - 3 分解や改造は絶対にやめましょう。
 - 4 不要になったリチウムイオンバッテリー搭載製品は、正しく処分しましょう。家庭ごみ指定袋やプラスチック資源指定袋の中に、リチウムイオンバッテリーが混入していたことにより火災が発生しています。下記の仙台市のホームページにおいて、処分方法等について確認することができます。
仙台市ホームページURL：
<https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/gomi/wakekata/battery1.html>
- * 下記の状況に該当する場合は使用を中止して、販売店や製造事業者等にご相談しましょう。

- 充電できない ■ 充電中に以前より熱くなる ■ バッテリーが膨張している ■ 不意に電源が切れる
- 落とす、ぶつけるなどで強い衝撃を与え一部が変形している